



具体的な学校経営方針

平成26年 4月1日
京都市立砂川小学校長
石 田 龍 郎

～学校教育目標～

『すなおで，なかよし，がんばる，われら！』

○目指す子ども像：

- ・『時』を大切にし，今は何をするときか よく考えて行動する子 (確かな学力)
- ・『絆』を大切にし，ともに伸びようと 努力する子 (豊かな心)
- ・『命』を大切にし，心と体を 鍛える子 (健やかな体)

○目指す教職員像：

- ・『すべては，子どものために』を合言葉に，一人一人の子どもを徹底的に大切にする
⇒常に子ども側の観点に立ち，情熱にあふれ実践力のある教職員
「厳しい」が「優しい」教師・メリハリのある教師・人間味あふれる教師
- ・一人一人の教職員が，プロとしての自信と誇りを持ち，学び，成長し続ける
⇒専門職としての力量を高めるため，自己研鑽に励む教職員
- ・子ども・保護者・地域の実態から謙虚に学び，確かなビジョンを持つ
⇒日々の教育実践の中から生じる課題を共有し，それらの解決に向け，プラス思考で向き合う教職員

○目指す学校像：

- ・子どもの豊かな育ちと学びの成長のために，学校・家庭・地域の「絆」を強め，安全かつ元気で明るく笑顔と活気のある学校
- ・うるおいと規律のある学校
- ・家庭・地域に信頼される学校

1 学ぶ力を育てる教育の推進[「時」：確かな学力]

① 基礎・基本の徹底と活用力の向上

- ・言語活動の充実及びコミュニケーション能力の育成に向け、あらゆる教科・領域において、授業改善を図る。
- ・「学力向上プラン」により、具体的な到達目標を定め、習熟度別授業等、個に応じた指導の徹底を図る。
- ・「学力学習状況調査（6年）」・「ジョイントプログラム（5・6年）」・「プレジョイントプログラム（3・4年）」の分析と活用を行う。
- ・課外学習と連携した基礎・基本の習得学習の徹底を行う。
（家庭学習の充実に向け、組織的な補充教材及び発展教材開発の取組）
- ・学校図書館を活用、読書活動における主体的、意欲的な学びの展開を工夫する。
- ・外国語活動におけるコミュニケーション能力の育成を行う。

② 「個」に応じた指導の徹底

- ・「わかる喜び」と「学ぶ楽しさ」を感じとることができる授業づくりの推進を図る。
- ・LD等支援の必要な子どもや配慮を必要とする子どもについての共通理解と指導体制の充実を図る。
- ・指導と評価の一体化した授業の展開（指導内容の明確な授業展開と副票の活用）を工夫する。
- ・個に応じた指導の工夫（一斉指導・少人数指導・習熟度に応じた指導・教科担任制・交換授業・専科・協力指導）等の指導方法の工夫・改善を行う。
- ・「総合的な学習の時間」の充実（計画的・系統的な指導の推進）を図る。
- ・「生き方探究（キャリア）教育の充実を図る。
- ・家庭学習の充実と徹底を図る。

③ 指導に生かす学習評価の充実

- ・指導計画をもとに、年間指導計画及び評価計画の充実を図る。
- ・評価補助簿・副票等を活用した評価の積み重ねによる指導法の工夫と通知票の改善を図る。
- ・自作テストの工夫や自己評価・相互評価の活用を工夫する。

④ 実りある「総合的な学習の時間」の実践

- ・「育てたい力」を明確にし、教科・道徳・特別活動等との関連を考慮した全体計画、年間計画による実践を行う。

2 たくましく生きる力を育む教育実践の推進[「絆」：豊かな心]

① 学年・学級経営の充実

- ・「絆」を大切にしたい、よりよい「集団づくり」を意図的・計画的に推進する。
- ・「つけたい力」を明確にし、見通しある学年・学級経営の推進を行う。
- ・一人一人の子どもが、その個性・力を精一杯伸ばすことができる教育環境の創造を行う。
- ・工夫を凝らし、細心の注意を払った上での手間暇かけた取組の推進を行う。
⇒ICTデジタル化とアナログの良さの継承

② 生徒指導体制の充実

- ・的確な児童理解と実態把握ならびに、機を逃さない指導の徹底を行う。
- ・子どもに寄り添う姿勢で、課題解決に向けての適切な対応と支援（背景を踏まえた上での組織的・見通しある取組）を行う。
- ・「学校いじめ防止基本方針」を策定し、学校体制として、問題行動に、「見逃しのない観察」、「手遅れのない対応」、「心の通った指導」を進める。
- ・ネットいじめやケータイ（スマホ）問題・児童ポルノ等に対する正しい認識と啓発を行う。
- ・不登校（別室登校）・児童虐待等に対する適切な対応と関係機関との連携を図る。
- ・全校児童の「スマイル（校長）面談」の実施による課題の共有ときめ細かな実態把握を行う。（2年目）
- ・「さと・まちコラボ」（京北地区）の取組の推進を図る。（初年度）

③ しなやかな道徳教育の推進

- ・規範意識を高めるため、自尊感情・自己有用感を子どもに持たせる緩急ある指導の工夫を行う。
⇒「褒めて育てる」・「あかんもんはアカン！」
- ・「命が一番」を念頭に置いた指導の徹底を図る。
⇒（「わたしたちの道徳」・「夢いっぱい」の有効的な活用）
- ・社会の担い手として、規範意識（マモルを守る）・道徳実践力の定着に努める。
- ・地域の自然や社会とふれあう豊かな体験活動の展開を図る。
- ・地域ボランティア活動への参加・参画を促す。
- ・清掃活動の充実と校内美化の推進を図る。
- ・スマイル（たてわり）活動のさらなる充実を図る。

3 健康で安全に楽しく学べる教育環境づくりの推進[「命」：健やかな体]

① 子どもの命を守り、育む体制の強化と実践の推進

- ・「命」の大切さを実感できる人権教育のさらなる推進を図る。
- ・安全安心第一の教育実践・教育環境の整備を推進する。
- ・「しょうもない怪我」を減らすため、きめ細かい指導・声かけを工夫する。

② 子どものための家庭・地域との連携

- ・望ましい生活習慣の形成（早寝・早起き・朝ごはん・あいさつ）に向けた取組の推進を図る。
- ・きめ細かい給食指導と「食育」の充実を図る。
- ・皆勤賞（校長表彰）授与により、皆勤率のアップを目指す。（2年目）
- ・発達段階に応じた「性に関する指導」・「薬物乱用の防止教育」の推進を図る。
- ・「大文字駅伝大会」支部予選突破に向けた子どもの意識高揚と指導体制の充実を図る。
- ・生涯学習（スポーツ）の観点からの部活動（文化・体育）の推進

③ 学校・家庭・地域が連携した子どもが育つ教育環境づくりの取組

- ・PTA及び地域行事への参加・参画（学校体制としての関わり方）を促す。
- ・地域とともに関わり合う環境づくり（ボランティアとの連携）を図る。
- ・「見守りボランティア」等、交通安全・防犯の取組の協働の推進を図る。
- ・登下校指導や校区パトロール活動の強化を図る。
- ・学校予算の計画的な執行を行う。
- ・普通教室のホワイトボード化を推進する。（H25：東校舎2階3教室）

④ 部活動の充実

- ・全教職員体制による学校教育活動の一環としての部活動のさらなる充実を図る。

4 教職員協働体制と企画実践力の発揮による意識・行動改革の実行

○安全で元気で明るく活気のある学校

- ・教職員間の絆（人間関係）の構築（元気なあいさつ・声かけ・気配り等）
- ・信頼される，元気で明るい学校づくりを目指しての意識・行動改革
- ・社会常識に基づく，職場体制づくり

○うるおいのある学校

- ・朝から活気ある学校づくり（子どもへの声かけ・教職員同士のあいさつ）
- ・『時』を大切に，時間厳守の徹底と余裕ある対応（「ノー残業（エコ）デー」の確保）
- ・『絆』を大切に，お互いの個性・特性を發揮
- ・『命』を大切に，安全と健康が第一・フォロー体制（相互理解と協力）

○家庭・地域に信頼される学校

- ・「報（告）」・「連（絡）」・「相（談）」の徹底
- ・教育公務員としての自覚と，社会常識を踏まえた上での教育実践の推進
- ・服務規律の確認
- ・自己満足的な取組ではなく，学校組織体制としての責任の自覚
- ・丁寧な保護者・地域への対応（電話対応・職員室対応・家庭訪問等）
- ・適切な緊張感を持った上での保護者・地域対応
- ・教職員としての常識・配慮ある正しい言葉遣いと服装（身だしなみ）
- ・教職員評価システム（査定評価）による資質向上と学校の活性化（自己目標に基づく取組の遂行・意識改革）
- ・計画的かつ積極的な研修受講による自己研鑽（自己研修計画）
- ・管理職の入り込み指導の充実
- ・研究会活動への積極的参加と実践交流（積極的な授業公開）
- ・経験に応じた教職員の学校組織体制の中での自己の使命の自覚と責任
- ・意欲ある若年教職員の育成（「学級経営研究会・若手教職員の会」等）
- ・小大連携並びに，教師塾等の学生・社会人ボランティアの受け入れによる活性化